

●會社令廢止ニ關スル件

(大正九年四月 制令第七號)

會社令ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊令ニ依リテ設立シタル會社ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ朝鮮民事令ニ依リテ設立シタルモノト看做ス

本令施行前舊令ニ依リテ爲シタル行爲ハ朝鮮民事令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ同令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

保險業、無盡業又ハ有價證券ノ賣買若ハ仲立ノ營業ヲ目的トスル會社及會社組織ノ取引所ニ付テハ當分ノ内仍從前ノ例ニ依ル

會社令第十七條第二項ニ規定スル會社ニハ朝鮮民事令中之ニ類似スル會社ニ關スル規定ヲ準用ス

會社令第十九條第二項又ハ第二十條ニ規定スル會社ニ付テハ當分ノ内仍從前ノ例ニ依ル

●朝鮮無盡業令

(大十一年四月 制令第七號)

附則

大正九年制令第七號附則第四項中「無盡業」ヲ削ル

●簡易生命保險法

(大正五年七月 法律第四十二號) (改正一二年第三六號)

第一條 簡易生命保險ハ政府之ヲ管掌ス

第二條 簡易生命保險事業ハ保險會社之ヲ營ムコトヲ得ス

第三條 簡易生命保險ニ於テハ政府カ保險契約者又ハ第三者ノ生死ニ關シ保險金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ保險契約者カ對償トシテ政府ニ保險料ヲ支拂フヘキコトヲ約スルモノトス

簡易生命保險ノ種類、被保險者ノ年齢、保險料及被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ノ計算ノ基礎ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 簡易生命保險ノ保險金額ハ三百五十圓以下トス(大正十一年法律第三十號ヲ以テ本項改正) 同一ノ被保險者ニ付數箇ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ保險金額ノ總額ハ前項ノ制限ニ依ル

第五條 簡易生命保險ニ於テハ被保險者ノ身體検査ヲ行ハス

第六條 保險契約ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書ヲ作成シ之ヲ保險契約者ニ交付ス 保險證書ニ記載スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 保險契約ノ效力ハ保險證書作成ノ日ニ始マル

第八條 被保險者カ保險契約ノ效力發生後二年内ニ災害又ハ傳染病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ因ラスシテ死亡シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保險金額ノ一部ヲ支拂

ハサルコトヲ得

第九條 保險契約者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定セサルトキハ被保險者ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキ者トス

第十條 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナルトキハ其ノ第三者ハ當然保險契約ノ利益ヲ享受ス

第十一條 保險契約者ハ保險金額又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル還付金額ノ支拂ノ事由發生スル迄ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定又ハ變更スルコトヲ得但シ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナル場合ニ於テ保險契約者カ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 保險金額又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル還付金額ヲ受取ルヘキ權利ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ命令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 前條ノ權利ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第十四條 保險契約者ハ被保險者ノ同意ヲ得テ第三者ヲシテ保險契約ニ因ル權利義務ヲ承繼セシムルコトヲ得

前項ノ承繼ハ政府ニ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ政府ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 保險契約者又ハ被保險者ノ詐欺ニ因ル保險契約ハ之ヲ無効トス

第十六條 保險契約者ハ何時ニテモ保險契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ解除ハ將來ニ向テノミ其ノ效力ヲ生ス

第十七條 保險契約者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險契約ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

第十八條 保險契約者保險料ヲ拂込マスシテ命令ノ定ムル所ニ依リ猶豫スル期間ヲ經過シタルトキハ保險契約ハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ規定ハ保險契約者カ前項ノ期間經過後一月内ニ其ノ契約ヲ保險料拂濟保險契約ニ變更セムコトヲ請求シタルトキハ之ヲ適用セス

第十九條 前條第一項ノ場合ニ於テハ保險契約者ハ保險契約ノ失效後一年内ニ限り其ノ復活ノ申込ヲ爲スコトヲ得

第二十條 前條ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書ニ保險契約復活ノ旨ヲ記載ス復活ノ效力ハ前項記載ノ日ニ發生ス

第二十一條 保險契約復活シタルトキハ始ヨリ其ノ效力ヲ失ハサリシモノト看做ス

第二十二條 第十五條及商法第四百二十九條ノ規定ハ保險契約復活ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 被保險者カ保險契約復活ノ效力發生後一年内ニ災害又ハ傳染病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ因ラスシテ死亡シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保險金額ノ一部ヲ支拂ハサルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ被保險者カ保險契約ノ效力發生後二年内ニ死亡シタルトキハ第八條ノ規定ニ依ル

第二十四條 左ノ場合ニ於テハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

一 被保險者カ保險契約又ハ其ノ復活ノ效力發生後二年内ニ自殺シタルトキ

- 二 被保險者カ決闘其ノ他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ
 - 三 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但シ其ノ者カ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ政府ハ其ノ殘額ヲ支拂フ
 - 四 保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ
 - 五 被保險者ノ死亡シタル場合ニ於テ保險契約者及保險金額ヲ受取ルヘキ者カ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ通知ヲ發セサルトキ
- 第二十五條** 第十六條第一項、第十七條、第十八條第一項及前條ノ場合ニ於テハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ノ一部ノ還付ヲ請求スルコトヲ得
- 前項ノ規定ハ前條第三號ノ場合ニハ之ヲ適用セス
- 第二十六條** 政府ハ保險契約者ノ請求アルトキハ保險契約ノ解除ニ因リ還付スヘキ金額ノ範圍内ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ貸付ヲ爲ス
- 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナルトキハ前項ノ請求ニハ其ノ者ノ同意アルコトヲ要ス
- 第二十七條** 前條ノ規定ニ依リ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ保險金額ヲ支拂フヘキトキハ貸付金及其ノ利息ハ保險金額ヨリ之ヲ控除ス
- 第二十八條** 當該官署カ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金額又ハ保險契約者若ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ニ還付スヘキ金額ヲ支拂ヒタルトキハ其ノ支拂ハ之ヲ有效トス

- 第二十九條** 保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ簡易生命保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ簡易生命保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス
- 第三十條** 前條ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス
- 第三十一條** 簡易生命保險審査會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三十二條** 簡易生命保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス
- 第三十三條** 簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ハ無料ト爲スコトヲ得
- 第三十四條** 商法第三百九十九條、第四百一條、第四百六條、第四百十七條、第四百二十八條、第四百二十八條ノ四、第四百二十九條及第四百三十二條ノ二ノ規定ハ簡易生命保險ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正五年勅令第二百五號ヲ以テ同年十月一日ヨリ之ヲ施行ス）

●簡易生命保險令

（大正五年八月十八日勅令第二百六號）

（改正 大正十一年八月法律第五十九號）

- 第一條** 簡易生命保險ハ終身保險及養老保險トス
- 第二條** 終身保險ニ在リテハ被保險者死亡シタルニ因リテ保險金額ノ支拂ヲ爲スモノトス

第三條 養老保險ニ在リテハ被保險者ノ生存中保險期間滿了シ又ハ其ノ期間滿了前被保險者死亡シタルニ因リテ保險金額ノ支拂ヲ爲スモノトス

第四條 養老保險ハ左ノ七種トス

- 一 十年満期養老保險
- 二 十五年満期養老保險
- 三 二十年満期養老保險
- 四 二十五年満期養老保險
- 五 三十年満期養老保險
- 六 三十五年満期養老保險
- 七 四十年満期養老保險

第五條 新ニ被保險者タルコトヲ得ル者ノ年齢ハ十二歳以上六十歳以下トス

第六條 保險證書作成ノ後被保險者ノ年齢ニ付錯誤アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ其ノ作成ノ日ノ年齢カ前條ノ範圍内ナルトキハ當初ヨリ其ノ年齢ニ基キテ保險契約ヲ爲シタルモノト看做シ其ノ年齢カ十二歳未滿ナルトキハ十二歳ニ達シタル日ニ於テ保險證書ヲ作成シタルモノト看做シ保險金額ヲ更正ス

前項ノ規定ニ依リ保險金額ヲ更正スル場合ニ於テ其ノ金額カ三百五十圓ヲ超過スルトキハ當初ヨリ最高ノ保險金額ニ基キテ保險契約ヲ爲シタルモノト看做ス (大正十一年八月法律第九十五號ヲ以テ改正)

第七條 保險料ハ左ノ基礎ニ依リ計算ス

- 一 明治四十五年内閣統計局ノ發表シタル第二表ノ男子死亡率ニ二割ヲ増加シテ作成シタル死亡生殘表
- 二 年三分五厘ノ豫定利率

被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ハ前項ノ基礎ニ依リ純保險料式ヲ以テ之ヲ計算ス

第八條 簡易生命保險法第八條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ保險金額ハ左ノ區別ニ依ル

保險契約ノ效力發生後一年内ナルトキ
死亡迄ニ拂込ムヘキ保險料ニ相當スル金額

保險契約ノ效力發生後二年内ナルトキ
保險金額ノ二分ノ一

前項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ金額カ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ニ滿タサルトキハ其ノ積立テタル金額ニ依ル

第九條 簡易生命保險法第二十三條第一項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ保險金額ハ左ノ區別ニ依リ保險契約復活ノ效力發生ノ日ニ於テ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ニ左ノ金額ヲ加ヘタルモノトス

復活ノ效力發生後六月内ナルトキ
復活ノ效力發生後死亡迄ニ拂込ムヘキ

復活ノ效力發生後一年内ナルトキ
保險料ニ相當スル金額

復活ノ效力發生後一年内ナルトキ
保險金額ト復活ノ效力發生ノ日ニ於テ

被保險者ノ爲ニ積立テタル金額トノ差額ノ二分ノ一

第十條 簡易生命保險法第八條及第二十三條第二項ノ規定ニ依リ支拂フヘキ保險金額ハ左ノ區別ニ依ル

保險契約ノ效力發生後二年内ニシテ復活ノ效力發生ノ日ニ於テ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ニ復活ノ效力發生後死亡迄ニ拂込ムヘキ保險料ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額

保險契約ノ效力發生後二年内ニシテ復活ノ效力發生後一年ヲ超ユルトキ
保險金額ノ二分ノ一

第八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 簡易生命保險法第二十五條ノ規定ニ依リ還付スヘキ金額ハ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ノ百分ノ八十乃至九十八ノ範圍内ニ於テ遞信大臣ノ定ムル所ニ依ル
遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ保險契約ノ效力發生後一定ノ期間ヲ經過セサル契約ニ付テハ前項ノ金額ヲ還付セサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ未タ拂込ヲ爲ササル保險料ハ之ヲ拂込ムコトヲ要セス

附則

本令ハ簡易生命保險法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

簡易生命保險規則

(大正五年八月十八日 遞信省令第四十六號)

(改正 大正七年第二二號第四七號、八年第九〇號、九年第一三號、第一〇五號、一一年第一七號)

第一章 總則

第一條 簡易生命保險ハ郵便官署ニ於テ之ヲ取扱フ但シ特ニ之ヲ取扱ハサルコトヲ告示シタル郵便官署ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 保險料額及保險金額ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

第三條 保險契約ニ關シ郵便官署ニ於テ必要ト認ムルトキハ保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者以下保險金受取人ト稱スヲシテ保證人ヲ立テシメ又ハ證明ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第四條 保險契約ニ關シ郵便官署ニ差出ス書類ニハ保險證書ノ記號番號ヲ記載スヘシ

第五條 左ノ場合ニ於テハ保險契約者又ハ保險金受取人ハ再度保險證書、再度保險料領收帳、再度保險金支拂通知書、再度保險還付金支拂通知書又ハ再度貸付證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

- 一 證書、通知書又ハ領收帳ヲ亡失シタルトキ
 - 二 證書、通知書又ハ領收帳毀損汚斑シテ不判明トナリタルトキ
- 再度保險證書ノ請求ニ對シテハ證書一通ニ付料金十錢ヲ徵收ス但シ郵便官署ニ於テ已ムヲ得サル事由アリト認メタルトキ及第二十八條又ハ第二十九條ノ請求ト共ニ之ヲ爲

ストキハ此ノ限ニ在ラス(大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ但書追加)

第六條 保險契約者又ハ保險金受取人前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ再度證書、再度通知書又ハ再度領收帳請求書ヲ作成シ再度保險證書ノ請求ニ在リテハ料金相當ノ郵便切手ヲ貼附シ郵便局ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ證書、通知書又ハ領收帳アルモノハ之ヲ添附シ保險證書ニ對シテハ其ノ受領證ヲ受取ルヘシ
前項ノ請求アリタルトキハ再度證書、再度通知書又ハ再度領收帳ヲ作成シ之ヲ請求人ニ交付ス(大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ改正)
原證書、原通知書又ハ原領收帳ヲ發見シタルトキハ郵便局ニ之ヲ返還スヘシ

第七條 再度證書、再度通知書又ハ再度領收帳ヲ發行シタルトキハ原證書、原通知書又ハ原領收帳ハ無効トス

第八條 保險金又ハ還付金ノ支拂郵便局ノ變更ヲ請求セムトスルルトキハ其ノ要旨ヲ記載シタル請求書ヲ郵便局ニ差出スヘシ但シ原支拂郵便局以外ノ郵便局ニ差出ス場合ニ於テハ之ニ原支拂郵便局名ヲ附記スヘシ(同上)
前項ノ請求ヲ認メタルトキハ其ノ旨ヲ請求人ニ通知ス

第九條 保險契約者又ハ保險金受取人數人アルトキハ其ノ一人ヲ代表者トスヘシ
前項ノ代表者ハ他ノ保險契約者又ハ保險金受取人ヲ代理スルモノトス
保險契約者數人アル場合ニ於テハ其ノ責任ハ連帶トス

第十條 保險契約ニ關シ郵便切手ヲ以テ納付スル料金ニ過納又ハ誤納アリタルトキハ納付人ノ請求ニ依リ其ノ納付ヲ受ケタル郵便局ニ於テ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付ス

第十一條 (大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ削除)

第二章 契約ノ成立

第十二條 保險契約ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ保險申込書用紙ニ左ノ事項ヲ記載シ記名調印ノ上第一回拂込ノ保險料ヲ添ヘ之ヲ郵便局又ハ其派出吏員ニ差出シ第一回保險料領收證ヲ受取ルヘシ此ノ場合ニ於テ被保險者カ第三者ニシテ保險金受取人ニ非サルトキハ其ノ記名調印ヲ要ス(同上ヲ以テ)
(本項改正)

- 一 保險ノ種類
- 二 保險料額、其ノ拂込期間、拂込方法 集金人拂込、何郵便局窓口及拂込場所 集金人拂込ノ場合ニ限
- 三 保險金額
- 四 保險契約者ノ氏名又又ハ名稱及住所
- 五 第九條ノ場合ニ於テハ其ノ代表者ノ氏名
- 六 被保險者ノ氏名、住所、生年月日、職業及兵役關係
- 七 保險金受取人ノ氏名又ハ名稱(同上ヲ以テ)
(本號改正)
- 八 簡易生命保險法第十一條但書ニ依ラムトスルモノハ其ノ意思表示
- 九 被保險者ノ現在及既往ノ重ナル疾患ノ有無、病名及經過
- 十 保險料ノ振替貯金振替拂込ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ郵便振替貯金口座番號

十一 被保險者ニ付既ニ簡易生命保險契約アルトキハ其ノ保險金額及保險證書ノ記號番號又現ニ簡易生命保險契約ノ申込中ニ係ルトキハ其ノ旨並保險金額(上)

第十三條 保險契約ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ申込ノ被保險者タルヘキ者ヲシテ郵便官署ノ吏員ニ面接セシムヘシ但シ被保險者タルヘキ者カ現役軍人又ハ召集中ノ軍人ニシテ所屬長官ノ健康證明書ヲ提出スルトキハ之カ手續ヲ省略スルコトアルヘシ(大正八年逓信省令第九十號ヲ以テ但書追加)

第十三條ノ二 保險契約ノ申込ヲ爲サムトスル者ト被保險者タルヘキ者ト其ノ所在地ヲ異ニスル爲保險契約申込ノ際被保險者タルヘキ者カ第十二條ノ規定ニ依ル記名調印又ハ前條ノ規定ニ依ル面接ヲ爲シ難キトハ其ノ所在地ノ郵便官署ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得(大正九年逓信省令第十三號ヲ以テ追加)

第十四條 簡易保險局保險契約ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書及保險料領收帳ヲ保險契約申込者ニ交付ス但シ保險料ノ振替貯金振替拂込ヲ爲スモノニ在リテハ保險料領收帳ヲ交付セス(大正九年逓信省令第百五號ヲ以テ本項中改正)
保險契約ノ申込ヲ承諾セサルトキハ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ保險契約申込者ニ通知ス保險契約申込者前項ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ニ記名調印ノ上通知書ニ指定シタル郵便局ニ差出シ拂込金ノ還付ヲ受クヘシ

第十五條 保險證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ簡易保險局長記名調印ス(上)
一 保險ノ種類

- 二 保險金額
- 三 保險料額及其ノ拂込期間
- 四 保險契約者、被保險者及保險金受取人ノ氏名又ハ名稱(大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ本號改正)
- 五 保險證書作成ノ年月日及記號番號
- 六 簡易生命保險法第十一條但書ノ意思表示
- 七 養老保險ニ在リテハ保險期間ノ終期

第三章 保險料ノ拂込

第十六條 保險料ノ拂込期間ハ十年間、十五年間、二十年間又ハ全保險期間トス

第十七條 保險料ハ月掛トシ一月分ヲ毎月保險證書作成ノ日ニ應當スル日ヨリ一月間ニ拂込ムヘシ

船員、出稼人、農業者等ニシテ郵便官署ニ於テ已ムヲ得サル事由アリト認メタル者ニ限リ保險料一年分以内ニ相當スル金額ヲ豫納スルコトヲ得(大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ追加大正九年第十三號ヲ以テ中改正)
前項ノ豫納金ハ拂込期毎ニ簡易保險局ニ於テ保險料ニ充當ス(大正九年逓信省令第十三號ヲ以テ追加同年第百五號ヲ以テ中改正)

第十八條 保險料ハ集金人拂込ノ場合ニ在リテハ拂込場所ノ集配受持郵便局ノ集金人ニ、窓口拂込ノ場合ニ在リテハ保險契約者ノ指定シタル郵便局ニ拂込ミ保險料領收帳

ニ其ノ記入ヲ受クヘシ振替貯金振替拂込ノ場合ニ在リテハ口座所管廳ニ於テ當該加入者ノ貯金ヨリ振替拂込ヲ爲シ之ヲ保險契約者ニ通知ス(大正九年逓信省令第百五號ヲ以テ中改正)

第十九條 保險契約者集金人拂込ニ依ル場合ニ於テ集金人ニ保險料ヲ拂込マサルトキハ窓口拂込ニ依ラシムルコトアルヘシ

第二十條 保險契約者ハ其ノ保險料拂込ヲ取扱フ郵便局ニ於テ郵便貯金ヨリ保險料ノ拂込ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 保險契約者保險料拂込方法ヲ變更セムトスルトキハ保險料拂込方法變更請求書ヲ郵便局ヲ經テ簡易保險局ニ差出シ保險料領收帳ヲ郵便局ニ呈示スヘシ(大正七年逓信省令第百五號ヲ以テ本項改正)

前項ノ場合ニ於テ保險料ノ振替貯金振替拂込ヲ廢止スルモノニ在リテハ保險料領收帳ヲ保險契約者ニ交付ス

第二十二條 保險料ノ拂込猶豫期間ハ第十七條ノ期間經過後二月トス
保險料ノ拂込猶豫シタル場合ニ於テハ保險料ノ金額五十錢又ハ其ノ端數毎ニ一月又ハ其ノ端數ニ付一錢ノ延滞料ヲ徴收ス但シ郵便官署ニ於テ已ムヲ得サル事由アリト認メタルトキハ此ノ限ニアラス(大正七年逓信省令第百五號ヲ以テ但書追加)

第四章 保險金ノ支拂

第二十三條 被保險者死亡シタルトキハ保險契約者又ハ保險金受取人ハ其ノ事實ヲ知りタル日ヨリ三月内ニ簡易保險局ニ其ノ通知ヲ發スヘシ(大正九年逓信省令第百五號ヲ以テ本項改正)

正當ノ事由ニ因リ前項ノ期間内ニ通知ヲ發スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ノ止ミタル後速ニ其ノ通知ヲ發スヘシ

第二十四條 左ノ金額ハ支拂フヘキ保險金額ヨリ之ヲ控除ス
一 未拂保險料及延滞料
二 貸付金及其ノ利息

第二十五條 保險金受取人保險金支拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ保險證書ヲ呈示シタル上保險金支拂請求書ニ左ノ書類ヲ添附シ郵便局ニ差出シ其ノ受領證ヲ受取ルヘシ
一 被保險者ノ戶籍謄本又ハ抄本
二 被保險者死亡ノ場合ニ在リテハ市町村長ニ差出シタル死亡診斷書、死體檢案書若ハ檢視調書ニ記載シタル事項ノ證明書又ハ之ニ代ルヘキ書類

三 保險料集金人拂込又ハ窓口拂込ノ場合ニ在リテハ保險料領收帳
前項ノ場合ニ於テ災害又ハ傳染病豫防法第一條第一項ノ傳染病ニ因ラスシテ保險契約ノ效力發生後一年内ニ死亡シタルモノニ在リテハ保險金支拂請求書ニ前項第一號及第二號ノ書類ノ添附ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ保險金支拂請求書ニ被保險者ノ本籍ヲ附記スヘシ(大正七年逓信省令第百五號ヲ以テ本項追加)

第二十六條 前條ノ請求アリタルトキハ保險金支拂通知書ヲ保險金受取人ニ送付ス
保險金受取人前項ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ニ記名調印シ保險證書ヲ添へ通知書ニ

指定シタル郵便局ニ差出シ保險金ノ拂渡ヲ受クヘシ

第二十六條ノ二 保險金受取人簡易生命保險法施行區域外ニ於テ保險金支拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ第二十五條ノ規定ニ依ル保險金支拂請求書及其ノ添附書類並保險證書ヲ簡易保險局ニ送付スヘシ(大正七年逓信省令第四十七號ヲ以テ追加大正九年第五百五號ヲ以テ中改正)

前項ノ請求アリタルトキハ會計規則第四十八條第一項ノ規定ニ依リ保險金ヲ支拂フ(大正十一年逓信省令第十七號ヲ以テ本項改正)

第二十六條ノ三 保險金受取人ハ別ニ告示スル郵便者ニ於テ保險金ノ局待拂ヲ請求スルコトヲ得(大正九年逓信省令第十三號ヲ以テ追加)

第二十六條ノ四 保險金受取人保險金ノ局待拂ヲ請求セムトスルトキハ保險證書ヲ呈示シ第二十五條第一項ノ規定ニ依ル保險金支拂請求書及其ノ添附書類ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ(同上)

前項ノ請求アリタルトキハ保險金支拂通知書ヲ直ニ保險金受取人ニ交付ス
保險金受取人前項ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ニ記名調印シ保險證書ヲ添へ當該郵便局ニ差出シ保險金ノ拂渡ヲ受クヘシ

第二十七條 本章ノ規定ハ簡易生命保險法第二十四條ノ場合ニ於テ同法第二十五條ノ規定ニ依リ還付スヘキ金額ノ支拂ニ之ヲ準用ス

第五章 契約ノ異動變更

第二十八條 保險契約者ハ左ノ場合ニ於テ保險契約ノ變更ヲ請求スルコトヲ得(大正七年逓信省令)

第四十七號ヲ以テ全條改正

一 保險金額ヲ増加セス及保險料拂込期間ヲ延長セスシテ終身保險ヲ養老保險ニ變更セムトスルトキ

二 保險金額ヲ増加セス及保險料拂込期間ヲ延長セスシテ養老保險ノ保險期間ヲ短縮セムトスルトキ

三 保險金額ヲ増加セス、養老保險ヲ終身保險ニ變更セス及保險期間ヲ延長セスシテ保險料拂込期間ヲ短縮セムトスルトキ

四 養老保險ヲ終身保險ニ變更セス及保險期間並保險料拂込期間ヲ延長セスシテ保險料ヲ減額セムトスルトキ

前項ノ請求ニ對シテハ料金二十錢ヲ徵收ス

第二十九條 保險契約者カ當該保險契約ヲ保險料拂濟保險契約ニ變更ノ請求ヲ爲スニハ簡易生命保險令第十一條第二項ノ規定ニ該當セサル場合ニシテ料濟保險金額ハ十圓以上ナルコトヲ要ス

第三十條 簡易生命保險法第二十五條第一項ノ規定ニ依リ保險契約ノ變更ニ因ル還付金支拂ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ還付金支拂請求書ヲ郵便局ニ差出シ保險證書ヲ呈示スヘシ

前項ノ請求アリタルトキハ保險還付金支拂通知書ヲ保險金受取人ニ送付ス
保險金受取人前項ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ニ記名調印シ通知書ニ指定シタル郵便

局ニ差出シ還付金ノ拂渡ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テハ保險證書ヲ呈示スヘシ
第二十四條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依ル還付金ノ支拂ニ之ヲ準用ス

第三十條ノ二 保險金受取人ハ別ニ告示スル郵便局ニ於テ簡易生命保險法第二十五條第一項ノ規定ニ依リ保險契約ノ變更ニ因ル還付金ノ局待拂ヲ請求スルコトヲ得(大正九年逓信省令第十三號ヲ以テ追加)

第三十條ノ三 保險金受取人前條ノ規定ニ依リ還付金ノ局待拂ヲ請求セムトスルトキハ還付金支拂請求書ヲ當該郵便局ニ差出シ保險證書ヲ呈示スヘシ(同上)
第二十四條並第二十六條ノ四第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル還付金ノ支拂ニ之ヲ準用ス但シ保險證書ハ之ヲ差出スコトヲ要セス

第三十一條 第二十八條第一項ノ請求アリタル場合ニ於テ更正スヘキ保險金額ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

第二十八條第一項第四號ノ請求アリタル場合ニ於テ其ノ保險料ノ減少セラレタル部分ニ對スル被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ノ還付ヲ請求セサルトキハ別表ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ヲ前項ノ保險金額ニ加算ス

第二十九條ノ請求アリタル場合ニ於テ更正スヘキ保險金額ハ別表ノ定ムル所ニ依ル
第三十二條 保險契約者第二十八條及第二十九條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ保險契約變更請求書ヲ作成シ料金ヲ要スルモノニ在リテハ料金相當ノ郵便切手ヲ貼附シ保險證書ヲ添ヘ郵便局ニ差出シ保險證書ノ受領證ヲ受取ルヘシ此ノ場合ニ於テ保險料領收帳アルモノハ之ヲ添付スヘシ

保險證書及保險料領收帳ハ訂正ノ上之ヲ保險契約者ニ交付ス(大正七年逓信省令第二十號ヲ以テ本項中改正)

第三十三條 簡易生命保險法第十四條ノ規定ニ依リ保險契約者ニ變更アリタルトキハ保險契約承繼者ハ保險證書訂正請求書ニ被保險者及保險契約者ト共ニ記名調印シ保險證書及保險料領收帳ヲ添ヘ郵便局ヲ經テ簡易保險局ニ差出シ郵便局ヨリ保險證書ノ受領證ヲ受取ルヘシ(大正七年逓信省令第二十二號大正九年第十三號ヲ以テ本項改正)
前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條 保險契約者又ハ保險金受取人第九條ノ規定ニ依ル代表者ヲ變更シタルトキハ之ヲ郵便局ヲ經テ簡易保險局ニ届出ツヘシ(大正九年逓信省令第十三號ヲ以テ中改正)

第三十五條 保險契約者氏名ヲ改メ又ハ保險金受取人ヲ指定若ハ變更シタルトキハ保險證書訂正請求書ニ保險證書ヲ添ヘ郵便局ヲ經テ簡易保險局ニ差出シ郵便局ヨリ保險證書ノ受領證ヲ受取ルヘシ此ノ場合ニ於テ氏名ヲ改メタルモノナルトキハ保險料領收帳ヲモ添附シ保險金受取人ヲ指定又ハ變更スルモノニシテ被保險者ノ同意ヲ要スルトキハ其ノ記名調印ヲ要ス(大正七年逓信省令第二十二號大正九年第十三號ヲ以テ本項改正)

第三十二條 第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第三十六條 保險契約締結後簡易生命保險法第十一條但書ノ意思ヲ表示セムトスルトキハ保險證書訂正請求書ニ保險證書ヲ添ヘ郵便局ヲ經テ簡易保險局ニ差出シ郵便局ヨリ保險證書ノ受領證ヲ受取ルヘシ(大正九年逓信省令第五百五號ヲ以テ本項中改正)
第三十二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 保險契約者其ノ住所若ハ保險料拂込場所ヲ變更シ又ハ被保險者若ハ保險金受取人氏名ヲ改メタルトキハ之ヲ郵便局ニ届出ツヘシ

第三十七條ノ二 保險契約者簡易生命保險法施行區域外ニ移轉シタル場合ニ於テ施行區域内ニ保險料拂込ニ關シ代理人ヲ設定セサルトキハ區域外移轉ノ旨簡易保險局ニ届出ツヘシ(大正七年遞信省第二十二號ヲ以テ追加大正九年第十三號ヲ以テ本項改正)

前項ノ保險契約者簡易生命保險法施行區域内ニ移轉シタル場合ニ於テハ第十八條ノ規定ニ依リ保險料拂込方法ヲ指定シ之ヲ郵便局ニ届出ツヘシ

第三十八條 第三十三條及第三十五條ノ規定ハ保險契約者又ハ保險金受取人ノ相續人其ノ他ノ包括承繼人カ保險契約上ノ權利義務ヲ承繼シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條 簡易生命保險令第六條ノ規定ニ依リ保險金額ノ更正ヲ要スル場合ニ於テ保險契約者更正ノ通知書ヲ受ケタルトキハ保險金額ノ更正ヲ受クル爲保險證書ヲ郵便局ニ差出シ其ノ受領書ヲ受取ルヘシ保險料額ノ更正ヲ要スル場合又ハ十二歳ニ達シタル日ニ於テ保險證書ヲ作成シタルモノト看做ス場合ニ於テハ保險料領收帳ヲモ差出スヘシ(大正七年遞信省令第二十二號ヲ以テ本項改正)

第三十二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條 第四十八條ノ規定ハ簡易生命保險令第六條ノ規定ニ依リ保險金額ヲ更正スヘキ場合ニ於テ十二歳ニ達シタル日迄ニ拂込タル保險料又ハ保險金額ノ超過額ニ對シ既

ニ拂込タル保險料ノ還付ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ保險證書ヲ呈示スヘシ

第二十四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條 保險金受取人ノ權利カ確定シタルトキハ其ノ權利ハ左ニ掲クル者ニ限り之ヲ讓渡スルコトヲ得

- 一 公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體
- 二 親族

第四十二條 保險金受取人前條ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ保險證書訂正請求書ニ讓渡人、讓受人及被保險者生存スルトキハ共ニ記名調印シ保險證書及左ノ書類ヲ添ヘ郵便局ヲ經テ簡易保險局ニ差出シ郵便局ヨリ保險證書ノ受領證ヲ受取ルヘシ(大正七年遞信省令第二十二號大

正九年第十三號ヲ以テ中改正)

- 一 法人又ハ團體ニ讓渡サムトスルトキハ其ノ營利ヲ目的トセサルコトヲ認ムヘキ相當證明書
- 二 親族ニ讓渡サムトスルトキハ其ノ續柄ヲ認ムヘキ戶籍謄本又ハ抄本

第四十三條 (大正七年遞信省令第二十二號ヲ以テ削除)

第六章 契約ノ消滅及復活

第四十四條 保險契約者保險契約ノ解除ヲ爲サムトスルトキハ解約通知書ヲ作成シ郵便局ヲ經テ簡易保險局ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テハ保險證書ヲ郵便局ニ呈示スヘシ

(大正九年逓信省令第百十號ヲ以テ中改正)

第四十五條 簡易生命保險法第二十五條及簡易生命保險令第十一條第一項ノ規定ニ依リ還付スヘキ金額ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

簡易生命保險令第十一條第二項ノ規定ニ依リ前項ノ金額ヲ還付セサル期間ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

第四十六條 第二十四條、第二十六條、第二十六條ノ二、第二十六條ノ四、第三十條第一項及第三十條ノ二ノ規定ハ保險契約ノ解除又ハ失效ニ因リ簡易生命保險法第二十五條第一項ノ規定ニ依ル還付金支拂ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ第二十六條ノ二及第二十六條ノ四ノ規定ニ依ル添附書類ハ之カ提出ヲ要セス(大正七年逓信省令第四十七號、大正九年第十三號ヲ以テ改正)

第四十七條 簡易保險局ニ於テ保險契約ノ解除ヲ爲ストキハ保險契約者ニ其ノ旨ヲ通知ス(大正九年逓信省令第百五號ヲ以テ中改正)

第四十八條 保險契約ノ無効又ハ取消ノ場合ニ於テ保險料其ノ他還付ヲ要スルモノアルトキハ簡易保險局ハ其ノ還付通知書ヲ保險契約者ニ送付ス(大正九年逓信省令第百二十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス)

第四十九條 保險契約復活ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ復活申込書用紙ニ第十二條第九號乃至第十一號ノ事項ヲ記載シ保險證書及保險料ノ拂込ヲ爲ササリシ期間ノ保險料ニ相當スル金額ヲ添へ郵便局又ハ其ノ派出吏員ニ差出シ其ノ領收證ヲ受取ルヘシ此ノ場合

ニ於テ保險料領收帳アルハ之ヲ添附スヘシ(大正九年逓信省令第百十三號ヲ以テ中改正)

第五十條 第十三條、第十三條ノ二及第十四條ノ規定ハ保險契約復活ノ場合ニ之ヲ準用ス(上同)

第七章 保險契約者ニ對スル貸付

第五十一條 保險契約者ハ簡易生命保險法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ保險料ニ振替フル爲一年以内ノ保險料ニ相當スル金額ニ付貸付ノ請求ヲ爲スコトヲ得(大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ本項中改正)

貸付期間ハ前項ノ請求ヲ認メタル時ヨリ二年以内トス但シ貸付期間滿了前ニ於テ保險契約消滅シタルトキハ辨濟期ニ達シタルモノトス(大正九年逓信省令第十號ヲ以テ本項中改正)
第一項ノ規定ニ依ル貸付金ニ對シテハ保險料ニ振替ヘタル時ヨリ其ノ振替金額ニ對スル利息ヲ貸付金辨濟ノ際拂込ムヘシ
貸付金ノ利率ハ別ニ之ヲ告示ス

保險契約者貸付期間ノ滿了前貸付金ノ全部又ハ一部ノ辨濟ヲ爲シタル場合ニ於テハ未ダ經過セサル貸付期間ニ對スル利息ハ之ヲ支拂フコトヲ要セス
貸付金ノ一部辨濟ヲ爲ス場合ニ於テハ保險料一箇月分ニ滿タサル端數ヲ附スルコトヲ得ス(大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ本項追加)

第五十二條 簡易生命保險法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ前條第一項以外ノ貸付ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ金額ハ五圓以上トシ貸付期間ハ三月以上一年以下トス

前項ノ貸付期間ハ止ムヲ得サル場合ニハ辨濟期ニ於テ其ノ期間ヲ更正スルコトヲ得但シ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得ス
第一項ノ規定ニ依ル貸付金ニ對シテハ貸付金ノ辨濟又ハ期間更新ノ際利息ヲ拂込ムヘシ

貸付金ノ一部辨濟ヲ爲ス場合ニ於テハ十錢未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ス(大正七年逓信省令第二十二號ヲ以テ本項追加)

前條第二項但書、第四項及第五項ハ第一項ノ貸付ニ之ヲ準用ス

第五十三條 保險契約者貸付ヲ受ケムトスルトキハ貸付請求書ヲ作成シ郵便局ニ差出シ保險證書ヲ呈示スヘシ此ノ場合ニ於テ保險金受取人カ第三者ナルトキハ共ニ記名調印スヘシ

簡易保險局前項ノ請求ヲ認メタルトキハ前條ノ貸付ニ付テハ貸付通知書ヲ、第五十一條ノ貸付ニ付テハ振替貸付通知書ヲ保險契約者ニ送付ス(大正九年逓信省令第百五號ヲ以テ本項中改正)

第五十四條 保險契約者簡易保險局ヨリ貸付通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ貸付證書ノ部ニ記名調印シ通知書ニ指定シタル郵便局ニ差出シ貸付金ノ交付ヲ受クヘシ(同上)
保險契約者貸付金ノ交付ヲ受ケ又ハ振替貸付通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ保險證書ヲ通知書ニ指定シタル郵便局ニ差出シ貸付ニ關スル事項ノ記入ヲ受クヘシ

第五十四條ノ二 保險契約者ハ別ニ告示スル郵便局ニ於テ第五十二條ノ規定ニ依ル貸付金ノ局待貸付ヲ請求スルコトヲ得(大正九年逓信省令第百十三號ヲ以テ追加)

第五十四條ノ三 保險契約者局待貸付ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ貸付請求書ヲ當該郵便局ニ差出シ保險證書ヲ呈示スヘシ此ノ場合ニ於テ保險金受取人カ第三者ナルトキハ共ニ記名調印スヘシ(同上)
前項ノ請求ヲ認メタルトキハ貸付通知書ヲ直ニ保險契約者ニ交付ス

保險契約者前項ノ通知書ヲ受ケタルトキハ其ノ貸付證書ノ部ニ記名調印シ當該郵便局ニ差出シ貸付金ノ交付ヲ受クヘシ
保險契約者貸付金ノ交付ヲ受ケタルトキハ保險證書ヲ當該郵便局ニ差出シ貸付ニ關スル事項ノ記入ヲ受クヘシ

第五十五條 保險契約者貸付金ノ辨濟ヲ爲サムトスルトキハ貸付金ニ利息ヲ添ヘ郵便局ニ差出シ保險證書ニ貸付金辨濟ノ旨ノ記入ヲ受ケ保險料振替貸付ノモノニ在リテハ保險料領收帳ニ拂込濟額ノ記入ヲ受クヘシ
貸付證書ハ簡易保險局ヨリ保險契約者ニ返付ス(大正九年逓信省令第百五號ヲ以テ本項中改正)

第五十六條 保險契約者貸付期間更新ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ貸付期間更新請求書ヲ作成シ之ニ利息ヲ添ヘ郵便局ニ差出シ保險證書ニ貸付期間更新ノ旨ノ記入ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ保險金受取人カ第三者ナルトキハ共ニ記名調印スヘシ

第五十七條 保險契約者辨濟期間ヲ過クルモ貸付金ノ辨濟ヲ爲サス且簡易生命保險法第十九條ノ期間ヲ經過シタルトキハ同法第十八條第一項ノ期間滿了ノ日ニ於テ辨濟アリタルモノトシ同法第二十五條ノ還付金額ヨリ之ヲ控除ス

附則

第五十八條 本規則ハ大正五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

別表第一 (大正七年逓信省令第二十二號、第四十七號ヲ以テ第一別表中改正)

第二條ノ規定ニ依ル保險料額及保險金額

一、保險料ハ月額十錢又ハ其ノ倍數トス但シ其ノ保險料ニ對スル保險金額ハ二十圓以上ナルコトヲ要ス

二、保險料月額十錢ニ對スル保險金額ハ左ノ如シ保險料月額二十錢ニ對スルモノハ其ノ二倍、三十錢ニ對スルモノハ其ノ三倍、其ノ他之ニ準シ計算スルモノトス

當時ノ申込	終			
	終身拂込	十年拂込	十五年拂込	二十年拂込
十二歳	六二・四	二六・六	三五・四	四二・三
十三歳	六〇・三	二五・九	三四・五	四一・二
十四歳	五八・六	二五・三	三三・六	四〇・一
十五歳	五六・九	二四・六	三二・八	三九・二
十六歳				三八・三
十七歳				三五・四
十八歳				三二・五
十九歳				二九・六
二十歳				二六・七

二十一歳	四九・七	二二・一	二九・五	三五・二	三十七歳	三二・三	一六・六	二二・九	二五・九
二十二歳	四八・八	二一・八	二九・一	三四・八	三十八歳	三一・二	一六・二	二一・四	二五・二
二十三歳	四七・九	二一・五	二八・七	三四・三	三十九歳	三〇・一	一五・八	二〇・九	二四・六
二十四歳	四六・九	二一・三	二八・四	三三・八	四十歳	二九・〇	一五・五	二〇・四	二三・九
二十五歳	四五・九	二一・〇	一八・〇	三三・四	四十一歳	二七・九	一五・一	一九・九	二三・三
二十六歳	四四・九	二〇・六	二七・五	三三・一	四十二歳	二六・九	一四・八	一九・四	二二・六
二十七歳	四三・八	二〇・三	二七・一	三二・三	四十三歳	二五・九	一四・四	一八・九	二二・〇
二十八歳	四二・七	二〇・〇	二六・六	三一・七	四十四歳	二四・九	一四・一	一八・四	二一・三
二十九歳	四一・六	一九・六	二六・一	三一・一	四十五歳	二三・九	一三・七	一七・九	二〇・七
三十歳	四〇・四	一九・二	二五・六	三〇・五	四十六歳	二三・九	一三・四	一七・四	二〇・〇
三十一歳	三九・三	一八・八	二五・一	二九・八	四十七歳	二三・〇	一三・一	一六・九	一九・四
三十二歳	三八・一	一九・五	二四・六	二九・二	四十八歳	二二・一	一二・七	一六・四	一八・八
三十三歳	三九・六	一八・一	二四・〇	二八・五	四十九歳	二〇・二	一二・四	一五・九	一八・二
三十四歳	三五・七	一七・七	二三・五	二七・九	五十歳	一九・三	一二・一	一五・五	一七・五
三十五歳	三四・六	一七・三	二三・〇	二七・二	五十一歳	一八・五	一一・八	一五・〇	一六・九
三十六歳	三三・四	一七・〇	二二・五	二六・五	五十二歳	一七・七	一一・五	一四・五	一六・三

第一 保險契約ノ效力發生ノ時ニ於テ申込當時ノ年齢及將來拂込ムヘキ保險料ヲ以テ變更セムトスル保險種類、保險期間又ハ保險料拂込期間ニ依リ契約シタル場合ノ保險金額

第二 前記ノ保險契約ニ對シ契約變更ノ時ニ被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ト原契約ニ對シ契約變更ノ時ニ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額トノ差額ヲ變更セムトスル保險契約ノ將來ノ部分ニ對スル一時拂純保險料トシテ算出シタル保險金額

ロ、第二十八條第一項第四號ノ請求アリタル場合ニ於テハ左記第一ノ保險金額ヨリ第二ノ保險金額ヲ減シタルモノトス

第一 保險契約ノ效力發生ノ時ニ於テ保險契約申込當時ノ年齢ヲ以テ變更セムトスル保險料、保險種類、保險期間又ハ保險料拂込期間ニ依リテ契約シタル場合ノ保險金額

第二 前記ノ保險契約ニ對シ契約變更ノ時ニ被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ト原契約ニ對シ契約變更ノ時ニ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額中變更セムトスル保險料ニ相當スル部分トノ差額ヲ變更セムトスル保險契約ノ將來ノ部分ニ對スル一時拂純保險料トシテ算出シタル保險金額

二、第三十一條第二項ノ規定ニ依リ加算スヘキ保險金額ハ其ノ保險料ノ減少セラレタ

ル部分ニ對スル被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ヲ變更セムトスル保險契約ノ將來ノ部分ニ對スル一時拂純保險料トシテ算出シタル保險金額トス
三、第三十一條第三項ノ規定ニ依リ更正スヘキ保險金額ハ契約變更ノ時ニ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ヲ保險契約ノ將來ノ部分ニ對スル一時拂純保險料トシテ算出シタル金額トス但シ當該保險契約ニ付未拂保險料及延滞料アルトキハ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ヨリ之ヲ控除ス(大正七年逓信省令第二十號ヲ以テ本號中改正)

別表第三

第四十五條ノ規定ニ依ル還付金額及還付セサル期間

一、還付金額ハ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ニ左ノ區別ニ依ル割合ヲ乘シタル金額トス

保險契約ノ效力發生後三年以内ナルトキ 八割

保險契約ノ效力發生後四年以内ナルトキ 八割一分

保險契約ノ效力發生後五年以内ナルトキ 八割二分

以下一年ヲ増ス毎ニ一分ヲ加ヘ九割八分ニ至テ止ム

第二十八條第一項第四號ノ請求アリタル場合ニ於ケル還付金額ハ其ノ保險料ノ減少セラレタル部分ニ對スル被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ニ前記ノ割合ヲ乘シタルモノトス

二、前號ノ金額ヲ還付セサル期間ハ保險契約ノ效力發生後一年トス

●健康保健法

(大正十一年四月
法律第七十號)

第一章 總則

第一條 健康保險ニ於テハ保險者カ被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ關シ療養ノ給付又ハ傷病手當金、埋葬料、分娩費若ハ出産手當金ノ支給ヲ爲スモノトス

第二條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ニ使用セララル者カ勞務ノ對價トシテ事業主ヨリ受クル賃金、給料又ハ俸給及之ニ準スヘキモノヲ謂フ

賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場合ニ於テハ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス

標準報酬ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及保險給付ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ時効ノ中斷、停止其ノ他ノ事項ニ關シテハ民法ノ時効ニ關スル規定ヲ準用ス
命令ノ定ムル所ニ依リ保險者ノ爲ス保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ徵收ノ告知ハ民法第五百五十三條ノ規定ニ拘ラス時効中斷ノ效力ヲ有ス

第五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第七條 保險者又ハ保險給付ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理人ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

第八條 保險者ハ被保險者ヲ使用スル事業主ニ對シ其ノ使用スル者ノ異動、報酬其ノ他健康保險ノ施行ニ必要ナル事項ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ文書ヲ提示セシムルコトヲ得

第九條 保險官署ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ保險事故ノ生シタル作業ノ場所ニ臨檢セシムルコトヲ得

第十條 主務大臣ハ本法ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ命令ヲ以テ保險官署ニ委任スルコトヲ得

第十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ保險者其ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ保險者ハ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項ノ規定ニ於テ市町村トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノトス

第一項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次キ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十二條 政府ノ事業ニ使用セララル者ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第二章 被保險者

第十三條 工場法ノ適用ヲ受クル工場又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場若ハ工場ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス但シ臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ及一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 前條ニ規定スル工場及事業場ヲ除クノ外左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業及之ニ附屬スル事業ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

- 一 鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業
 - 二 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業
 - 三 電氣又ハ動力ノ發生、變壓又ハ傳導ノ事業
 - 四 土木工事又ハ工作物ノ建設、保存、修理若ハ破壊ノ工事ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス
 - 五 地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受タル事業
 - 六 前號ニ掲クルモノヲ除クノ外陸上ニ於テ爲ス貨物又ハ旅客ノ事業ニシテ主務大臣ノ指定スルモノ
 - 七 貨物積卸ノ事業
 - 八 前各號ニ掲クルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業
- 前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルヘキ者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ

要ス

一 事業ニ於テ作業ノ場所二以上アル場合ニ於テハ第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ主務大臣ハ其ノ一又ハ二以上ノ場所ニ於ケル作業ヲ一事業ト看做スコトヲ得

第十五條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス

第十三條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル工場カ其ノ適用ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ工場ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看做ス

第十七條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當セサルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第十八條 第十三條及第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ハ死亡シタル日、其ノ業務ニ使用セラルタルニ至リタル日又ハ第十三條但書若ハ第十五條第二項ノ規定ニ該當スルニ至リタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第十九條 第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ喪失セシムルコトヲ得
前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第一項ノ認可アリタルトキハ被保險者ハ認可アリタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス
第二十條 第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前一年
 内ニ於テ百八十日以上被保險者タリシモノ又ハ喪失ノ際引續キ六十日以上被保險者タ
 リシモノハ勅令ノ定ムル期間内ニ申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得
第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ前條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ
 百八十日ヲ經過シタルトキ、保險料ヲ納付セスシテ命令ヲ以テ定ムル猶豫期間ヲ經過
 シタルトキ又ハ第十三條若ハ第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ其ノ資
 格ヲ喪失ス
 前條ノ規定ニ依ル被保險者死亡シタル場合ニハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

第三章 保險者

第二十二條 健康保險ノ保險者ハ政府及健康保險組合トス

第二十三條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲必要ナル施設
 ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 政府ハ健康保險組合ノ組合員ニ非サル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第二十五條 健康保險組合ハ其ノ組合員タル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第二十六條 健康保險組合ハ法人トス

第二十七條 健康保險組合ハ事業主、其ノ事業ニ使用セラルル被保險者及第二十條ノ規
 定ニ依ル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 一又ハ二以上ノ事業ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ健康
 保險組合ヲ設立スルコトヲ得

被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ
 場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第二十九條 健康保險組合ヲ設立セムトスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ

二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ
 二以上ノ事業ニ付健康保險組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業ニ
 付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申
 請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ
 者トス

第三十一條 主務大臣ハ一事業ニ付第十三條ノ規定ニ依ル被保險者常時五百人以上ヲ使
 用スル事業主ニ對シ健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主ハ規約ヲ作り
 設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 第十四條第三項ノ規定ハ第二十八條、第二十九條及第三十一條ノ規定ノ適
 用ニ付之ヲ準用ス

第三十四條 健康保險組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第三十五條 健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業ニ使用セララル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス

前項ノ被保險者ハ其ノ事業ニ使用セラレサルニ至リタルトキト雖第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タルトキハ仍之ヲ組合員トス

第三十六條 健康保險組合ノ規約ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十七條 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ、規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 健康保險組合ノ役員ニ欠缺若ハ故障アルトキ又ハ組合ノ役員保險給付其ノ他其ノ執行スヘキ職務ヲ執行セサルトキハ主務大臣ハ官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ指定シテ其ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ健康保險組合ノ負擔トス

第三十九條 主務大臣ハ健康保險組合ノ決議若ハ役員ノ行爲カ法令、主務大臣ノ處分若ハ規約ニ違反シ、組合員ノ利益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解職シ又ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第四十條 解散ニ因リテ消滅シタル健康保險組合ノ權利義務ハ政府之ヲ承繼ス

第四十一條 本法ニ規定スルモノノ外健康保險組合ノ管理、財産ノ保管及利用方法、分

合、解散其ノ他健康保險組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 同時ニ二以上ノ業務ニ使用セララル被保險者ノ保險者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四章 保險給付

第四十三條 被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療養ノ給付ヲ爲ス

前項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ保險者ハ被保險者ヲ病院ニ收容スルコトヲ得

第四十四條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者ノ申請アリタル場合ニ於テハ保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第四十五條 被保險者療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合以外ノ場合ニ於テハ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ起算シ第四日ヨリ之ヲ支給ス

第四十六條 病院ニ收容シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第四十七條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付百八十日ヲ超エテ之ヲ爲サス

業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合以外ノ場合ニ於テハ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ一年内百八十日ヲ超エテ之ヲ爲ス

被保險者ハ前二項ノ規定ニ拘ラス傷病手當金ノ支給ヲ受クル期間療養ノ給付ヲ受ク

第四十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險者ハ前條ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ對シテ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

一 他ノ法令ノ規定ニ依リ事業主ヨリ扶助ヲ受クヘキ者ニ付其ノ事業主ヨリ申請アリタルトキ

二 前號以外ノ場合ニ於テ療養ノ給付ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又ハ第三者ヨリ申請アリタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ療養ノ給付ニ要シタル費用ニ相當スル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

第四十九條 被保險者死亡シタルトキハ被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシテ被保險者ノ報酬日額ノ二十日分ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ其ノ金額カ二十圓ニ滿タサルトキハ之ヲ二十圓トス

被保險者死亡シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クヘキ者ナキトキハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金額ノ範圍内ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十條 被保險者分娩シタルトキハ分娩費トシテ二十圓ヲ、出產手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十二相當スル金額ヲ支給ス

第五十一條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シテ支給スヘキ分娩費及出產手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十二條 分娩ニ關スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分娩前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲ササルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十三條 分娩ノ前後ニ保險者ニ變更アリタル場合ニ於テハ分娩ニ關スル保險給付ニ要スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關係アル保險者之ヲ分擔ス

第五十四條 出產手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ハ之ヲ支給セ

第五十五條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ受クル者ハ被保險者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間繼續シテ保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得

第五十六條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クル者死亡シタルトキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日後九十日以内ニ死亡シタルトキ又ハ其ノ他ノ被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後九十日以内ニ死亡シタルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受クルコトヲ得

健康保險法 保險給付

二二九

前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クル者ナキ場合及前項ノ埋葬料ノ金額ニ付テハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分娩シタルトキハ分娩ニ關シ被保險者トシテ受クルコトヲ得ヘカリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受クルコトヲ得

第五十八條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セス

第五十九條 前條ニ掲グル者疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ其ノ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコト能ハサリシトキハ保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給ス

前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徵收ス

第六十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者自己ノ故意ノ犯罪行為ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生セシメタルトキハ保險給付ヲ爲サス

第六十一條 被保險者鬪争若ハ泥酔ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルトキハ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得

第六十二條 保險給付ヲ受クヘキ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間保險

給付ヲ爲サス

- 一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ
 - 二 本法施行區域外ニ在ルトキ
 - 三 感化院其ノ他之ニ準スヘキモノニ入院セシメラレタルトキ
 - 四 監獄、留置場又ハ勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ
- 他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ病院、病舎又ハ療養所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サス

前項ニ掲クル者ニ付テハ第四十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 保險者ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者ニ對シ之ニ支給スヘキ傷病手當金ノ一部ヲ支給セサルコトヲ得

第六十四條 保險者ハ詐欺其ノ他不正ノ行為ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトスル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十五條 保險者ハ必要アリト認ムルトキハ保險給付ヲ受クル者ノ診斷ヲ行フコトヲ得

保險者ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ拒ミタル者ニ對シ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十六條 保險給付ノ支給期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十七條 保險者ハ事故カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者カ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第六十八條 保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ス

第六十九條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス

第五章 費用ノ負擔

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一ヲ負擔ス

前項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ總額カ被保險者一人ニ付一年平均二圓ノ割合ヲ超ユル場合ニ於テハ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スルモノトス

前項ニ規定スル被保險者ノ員數ノ計算ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十一條 保險者ハ健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保險料ヲ徵收ス

第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十三條 業務ノ性質上事故多キ事業ニ使用セララル被保險者又ハ少額ノ報酬ヲ受ク

ル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十四條 被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ハ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
前項ニ規定スル制限ヲ超エテ保險料ヲ徵收スルコトヲ要スル場合ニ於テハ其ノ超過部分ハ事業主ノ負擔トス

第七十五條 健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラス其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十六條 被保險者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ期間保險料ヲ徵收セス
一 傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ヲ受クルトキ
二 第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スルトキ

第七十七條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第七十九條 保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 審査ノ請求、訴願及訴訟

第八十條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ第二次健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ不服アル者ハ其ノ處分ヲ爲シタル保險官署又ハ健康保險組合ヲ監督スル保險官署ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 前條ノ規定ニ依ル訴願ノ提起アリタルトキハ保險官署ハ第二次健康保險審査會ノ審査ヲ經テ主務大臣ハ第三次健康保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第八十三條 健康保險審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 第十一條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ地方長官ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服ル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 健康保險審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關スル規定ヲ準用ス但シ健康保險審査會ノ爲ス證據調ニ關シテハ罰金ノ言渡ヲ爲シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得ス

第八十六條 審査ノ請求訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審査ノ

請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第六十七條及第七十四條乃至第七十七條ノ規定ヲ準用ス

第七章 罰則

第八十七條 正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ臨檢ヲ拒ミ若ハ妨ケ又ハ其ノ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ答辯ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條 第八條ノ規定ニ依ル保險者ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ報告ヲ爲サス、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十九條 健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主正當ノ理由ナクシ 主務大臣ノ指定スル期日迄ニ設立ノ認可ヲ申請セサルトキハ其ノ手續ノ遅延シタル期間其ノ負擔スヘキ保險料額ノ二倍ニ相當スル金額以下ノ過料ニ處ス

第九十條 健康保險組合カ第三十七條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ケタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

本法ニ基キテ發スル健康保險組合ニ關スル勅令ニ於テハ組合カ之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九十一條 前二條ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●供託金代用有價證券ニ關スル件(大正十年四月農務省令第十一號)

保險會社又ハ外國保險會社カ保險業法第四條ノ二第二項又ハ明治三十三年勅令第三百八十號第五條第三項ノ規定ニ依リ供託金ニ代用スルコトヲ得ヘキ有價證券ハ國債證券トス
前項ノ國債證券ノ代用價格ハ其ノ債權金額トス
前項ノ債權金額ニシテ外國貨幣ヲ以テ表示シタルモノニ付テハ左ノ標準ニ依リ日本貨幣ニ之ヲ換算ス

英貨一ポンド 九圓七十六錢三厘

佛貨一フランク 三十八錢七厘

附則

本令ハ大正十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前供託シタル國債證券以外ノ有價證券ハ地方債證券ニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ十年、其ノ他ノモノニ在リテハ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其ノ效力ヲ有ス

●供託金代用有價證券ニ關スル件(大正二年三月農商務省告示第七十號)

國債證券及地方債證券ハ保險會社又ハ外國保險會社カ保險業法第四條ノ二第二項又ハ明

治三十二年勅令第三百八十號第五條第三項ノ規定ニ依リ之ヲ供託金ニ代用シ得ヘキコトヲ認許ス但其代用價格ハ國債證券ニアリテハ其債權金額トシ地方債證券ニアリテハ其債權金額ノ十分ノ九トス

前項ニ記載セサル有價證券ニ付テハ株式會社日本銀行、株式會社橫濱正金銀行、株式會社日本勸業銀行、株式會社日本興業銀行、株式會社臺灣銀行、株式會社北海道拓殖銀行、株式會社朝鮮銀行、東洋拓殖株式會社、日本郵船株式會社、南滿洲鐵道株式會社ノ株券又ハ債券ニ限リ會社ノ申出ニ依リ其都度之ヲ認許ス但其株券ニシテ外國會社ノ所有シ得サルモノハ外國會社ニ付キ之ヲ除ク
前項ノ場合ニ於テハ其代用價格ハ時價ノ十分ノ八トス

●保險料金控除ニ關スル件(大正十二年四月法律第四十一號)

所得稅法中左ノ通改正ス

第十六條ノ三 自己若ハ家族又ハ其ノ相續人ヲ保險金受取人トスル生命保險契約ノ爲ニ拂込ミタル保險料ハ年額二百圓ヲ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ本人ノ申請ニ依リ其所得ヨリ之ヲ控除ス

附則

本法ハ大正十三年分所得稅ヨリ之ヲ適用ス

●商 法(拔萃)

(明治三十二年三月 法律第四十八號)

第三編 商行爲

第十章 保 險

第一節 損害保險

第一款 總 則

第三百八十四條 損害保險契約ハ當事者ノ一方カ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第三百八十五條 保險契約ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限り之ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得

第三百八十六條 保險金額カ保險契約ノ目的ノ價額ニ超過シタルトキハ其超過シタル部分ニ付テハ保險契約ハ無効トス

第三百八十七條 同一ノ目的ニ付キ同時ニ數箇ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其保險金額カ保險價額ニ超過シタルトキハ各保險者ノ負擔額ハ其各自ノ保險金額ノ割合ニ依リテ之ヲ定ム

數箇ノ保險契約ノ日附カ同一ナルトキハ其契約ハ同時ニ爲シタルモノト推定ス

第三百八十八條 相次テ數箇ノ保險契約ヲ爲シタルトキハ前ノ保險者先ツ損害ヲ負擔シ

若シ其負擔額カ損害ノ全部ヲ填補スルニ足ラサルトキハ後ノ保險者之ヲ負擔ス

第三百八十九條 保險價額ノ全部ヲ保險ニ付シタル後ト雖モ左ノ場合ニ限り更ニ保險契約ヲ爲スコトヲ得

一 前ノ保險者ニ對スル權利ヲ後ノ保險者ニ讓渡スコトヲ約シタルトキ

二 前ノ保險者ニ對スル權利ノ全部又ハ一部ヲ拋棄スヘキコトヲ後ノ保險者ニ約シタルトキ

三 前ノ保險者カ損害ノ填補ヲ爲ササルコトヲ條件トシタルトキ

第三百九十條 同時ニ又ハ相次テ數箇ノ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險者ノ一人ニ對スル權利ノ拋棄ハ他ノ保險者ノ權利義務ニ影響ヲ及ボサス

第三百九十一條 保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第三百九十二條 保險價額カ保險期間中著シク減少シタルトキハ保險契約者ハ保險者ニ對シテ保險金額及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得但保險料ノ減額ハ將來ニ向テノ其效力ヲ生ス

第三百九十三條 保險者カ填補スヘキ損害ノ額ハ其損害カ生シタル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ損害額ヲ計算スルニ必要ナル費用ハ保險者之ヲ負擔ス

第二百九十四條 當事者カ保險價額ヲ定メタルトキハ保險者ハ其價額ノ著シク過當ナルコトヲ證明スルニ非サレハ其填補額ノ減少ヲ請求スルコトヲ得ス

第二百九十五條 戰爭其他ノ變亂ニ因リテ生シタル損害ハ特約アルニ非サレハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス

第二百九十六條 保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵、其自然ノ消耗又ハ保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス

第二百九十七條 保險契約ノ當時當事者ノ一方又ハ被保險者カ事故ノ生セサルヘキコト又ハ既ニ生シタルコトヲ知レルトキハ其契約ハ無効トス

第二百九十八條 (削除)

第二百九十九條 保險契約ノ全部又ハ一部カ無効ナル場合ニ於テ保險契約者及ヒ被保險者カ善意ニシテ且重大ナル過失ナキトキハ保險者ニ對シテ保險料ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十九條ノ二 保險契約ノ當時保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知り又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

前項ノ解除權ハ保險者カ解除ノ原因ヲ知りタル時ヨリ一个月間之ヲ行ハサルトキハ消

滅ス契約ノ時ヨリ五年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第三百九十九條ノ三 前條ノ規定ニ依リ保險者カ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

保險者ハ危險發生ノ後解除ヲ爲シタル場合ニ於テモ損害ヲ填補スル責ニ任セス若シ既ニ保險金額ノ支拂ヲ爲シタルトキハ其返還ヲ請求スルコトヲ得但保險契約者ニ於テ危險ノ發生カ其告ケ又ハ告ケサリシ事實ニ基カサルコトヲ證明シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百條 保險契約ノ當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ保險料ノ額ヲ定メタル場合ニ於テ保險期間中其危險カ消滅シタルトキハ保險契約者ハ將來ニ向テ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得

第四百一條 保險契約ハ他人ノ爲メニモ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ保險契約者ハ保險者ニ對シ保險料ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第四百二條 保險契約者カ委任ヲ受ケスシテ他人ノ爲メニ契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其旨ヲ保險者ニ告ケサルトキハ其契約ハ無効トス若シ之ヲ告ケタルトキハ被保險者ハ當然其契約ノ利益ヲ享受ス

第四百三條 保險者ハ保險契約者ノ請求ニ因リ保險證券ヲ交付スルコトヲ要ス
保險證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ保險者之ニ署名スルコトヲ要ス

一 保險ノ目的

- 二 保險者ノ負擔シタル危險
- 三 保險價額ヲ定メタルトキハ其價額
- 四 保險金額
- 五 保險料及ヒ其支拂ノ方法
- 六 保險期間ヲ定メタルトキハ其始期及ヒ終期
- 七 保險契約者ノ氏名又ハ商號
- 八 保險契約ノ年月日
- 九 保險證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第四百四條 被保險者カ保險ノ目的ヲ讓渡シタルトキハ同時ニ保險契約ニ因リテ生シタル權利ヲ讓渡シタルモノト推定ス

前項ノ場合ニ於テ保險ノ目的ノ讓渡カ著シク危險ヲ變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

第四百五條 保險者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險契約者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

前項ノ規定ニ依リテ解除ヲ爲ササル保險契約ハ破産宣告ノ後三個月ヲ經過シタルトキハ其效力ヲ失フ

第四百六條 他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受

第四百六條 他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ被保險者ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得但被保險者カ其權利ヲ拋棄シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百七條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テハ保險契約者ハ契約ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第四百八條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ノ行爲ニ因ラスシテ保險ノ目的ノ全部又ハ一部ニ付キ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ危險カ生セサルニ至リタルトキハ保險者ハ保險料ノ全部又ハ一部ヲ返還スルコトヲ要ス

第四百九條 前二條ノ場合ニ於テハ保險者ハ其返還スヘキ保險料ノ半額ニ相當スル金額ヲ請求スルコトヲ得

第四百十條 保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

第四百十一條 保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス

前項ノ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ著シク變更又ハ増加シタルコトヲ知リタルトキハ遲滞ナク之ヲ保險者ニ通知スルコトヲ要ス若シ其通知ヲ怠リタリタルトキハ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其效力ヲ失ヒタルモノト看做

スコトヲ得
保險者カ前項ノ通知ヲ受ケ又ハ危險ノ變更若クハ増加ヲ知リタル後遲滯ナク契約ノ解除ヲ爲ササルトキハ其契約ヲ承認シタルモノト看做ス

第四百十二條 保險者ノ負擔シタル危險ノ發生ニ因リテ損害カ生シタル場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ其損害ノ生シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百十三條 保險ノ目的ニ付キ保險者ノ負擔スヘキ損害カ生シタルトキハ其後ニ至リ其目的カ保險者ノ負擔セサル危險ノ發生ニ因リテ滅失シタルトキト雖モ保險者ハ其損害ヲ填補スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百十四條 被保險者ハ損害ノ防止ヲカムルコトヲ要ス但之カ爲メニ必要又ハ有益ナリシ費用及ヒ填補額カ保險金額ニ超過スルトキト雖モ保險者之ヲ負擔ス

第四百十五條 保險ノ目的ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者カ其目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ權利ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第四百十六條 損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者

者カ第三者ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス

保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルトキハ保險契約者又ハ被保險者ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テノミ前項ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得

第四百十七條 保險金額支拂ノ義務及ヒ保險料返還ノ義務ハ二年保險料支拂ノ義務ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第四百十八條 本節ノ規定ハ相互保險ニ之ヲ準用ス但其性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス

第二款 火災保險

第四百十九條 火災ニ因リテ生シタル損害ハ其火災ノ原因如何ヲ問ハス保險者之ヲ填補スル責ニ任ス但第三百九十五條及ヒ第三百九十六條ノ場合ハ此限ニ在ラス

第四百二十條 消防又ハ避難ニ必要ナル處分ニ因リ保險ノ目的ニ付キ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任ス

第四百二十一條 賃借人其他他人ノ物ヲ保管スル者カ其支拂フコトアルヘキ損害賠償ノ爲メ其物ヲ保險ニ付シタルトキハ所有者ハ保險者ニ對シテ直接ニ其損害ノ填補ヲ請求スルコトヲ得

第四百二十二條 火災保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 保險ニ付シタル建物ノ所在、構造及ヒ用方

二 動産ヲ保險ニ付シタルトキハ之ヲ納ルル建物ノ所在、構造及ヒ用方

第三款 運送保險

第四百二十三條 保險者ハ特約ナキトキハ運送人カ運送品ヲ受取リタル時ヨリ之ヲ荷受人ニ引渡ス時マテニ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スル責ニ任ス

第四百二十四條 運送品ノ保險ニ付テハ發送ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ到達地マテノ運送賃其他ノ費用ヲ以テ保險價額トス

運送品ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益ハ特約アルトキニ限り之ヲ保險價額中ニ算入ス

第四百二十五條 運送保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 運送ノ道筋及ヒ方法

二 運送人ノ氏名又ハ商號

三 運送品ノ受取及ヒ引渡ノ場所

四 運送期間ノ定アルトキハ其期間

第四百二十六條 保險契約ハ特約アルニ非サレハ運送上ノ必要ニ因リ一時運送ヲ中止シ又ハ運送ノ道筋若クハ方法ヲ變更シタルトキト雖モ其效力ハ失ハス

第二節 生命保險

第四百二十七條 生命保險契約ハ當事者ノ一方カ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效

力ヲ生ス

第四百二十八條 他人ノ死亡ニ因リテ保險金額ノ支拂ヲ爲スヘキコトヲ定ムル保險契約ニハ其者ノ同意アルコトヲ要ス但被保險者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ナルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ保險契約ニ因リテ生シタル權利ノ讓渡ニハ被保險者ノ同意アルコトヲ要ス
保險契約者カ被保險者ナル場合ニ於テ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ其權利ヲ讓渡ストキ又ハ第一項但書ノ場合ニ於テ權利ヲ讓受ケタル者カ更ニ之ヲ讓渡ストキ亦同シ

第四百二十八條ノ二 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナルトキハ其第三者ハ當然保險契約ノ利益ヲ享受ス但保險契約者カ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

前項但書ノ規定ニ依リ保險契約者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定又ハ變更スル權利ヲ有スル場合ニ於テ其權利ヲ行ハスシテ死亡シタルトキハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ權利ハ之ニ因リテ確定ス

第四百二十八條ノ三 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ニ非サル第三者ナル場合ニ於テ其者カ死亡シタルトキハ保險契約者ハ更ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定スルコトヲ得

保險契約者カ前項ニ定メタル權利ヲ行ハスシテ死亡シタルトキハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ノ相續人ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキ者トス

第四百二十八條ノ四 保險契約者カ契約後保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定又ハ變更シタ

ルトキハ保險者ニ其指定又ハ變更ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ保險者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四百二十八條第一項ノ規定ハ前項ノ指定及ヒ變更ニ之ヲ準用ス

第四百二十九條 保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケヌ又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知り又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキハ此限ニ在ラス

第三百九十九條ノ二第二項及ヒ第三百九十九條ノ三ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十條 生命保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 保險契約ノ種類

二 被保險者ノ氏名

三 保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メタルトキハ其者ノ氏名

第四百三十一條 左ノ場合ニ於テハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

一 被保險者カ自殺、決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ

二 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ但其者カ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

三 保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ

前項第一號及ヒ第二號ノ場合ニ於テハ保險者ハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第四百三十二條 保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百三十三條ノ二 被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ拂戻ス義務ハ二年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第四百三十三條 第三百九十五條、第三百九十七條、第三百九十九條、第四百條、第四百一條、第四百三條第一項、第四百五條乃至第四百七條、第四百十條、第四百十一條、第四百十七條及ヒ第四百十八條ノ規定ハ生命保險ニ之ヲ準用ス
第三百九十五條、第四百五條、第四百七條、第四百十條及ヒ第四百十一條ノ場合ニ於テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサルトキハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第五編 海 商

第六章 保 險

第六百五十三條 海上保險契約ハ航海ニ關スル事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ノ填補ヲ以テ其目的トス

海上保險契約ニハ本章ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外第三編第十章第一節第一款ノ規定ヲ適用ス

第六百五十四條 保險者ハ本章又ハ保險契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外保險期間中保

險ノ目的ニ付キ航海ニ關スル事故ニ因リテ生シタル一切ノ損害ヲ填補スル責ニ任ス
第六百五十五條 保險者ハ被保險者カ支拂フヘキ共同海損ノ分擔額ヲ填補スル責ニ任ス
 但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額
 ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第六百五十六條 船舶ノ保險ニ付テハ保險者ノ責任カ始マル時ニ於ケル其價額ヲ以テ保
 險價額トス

第六百五十七條 積荷ノ保險ニ付テハ其船積ノ地及ヒ時ニ於ケル價額及ヒ船積並ニ保險
 ニ關スル費用ヲ以テ保險價額トス

第六百五十八條 積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益又ハ報酬ノ保險ニ付テハ契約ヲ以テ保
 險價額ヲ定メサリシトキハ保險金額ヲ以テ保險價額トシタルモノト推定ス

第六百五十九條 一航海ニ付キ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ荷物
 又ハ底荷ノ船積ニ著手シタル時ヲ以テ始マル

荷物又ハ底荷ノ船積ヲ爲シタル後船舶ヲ保險ニ付シタルトキハ保險者ノ責任ハ契約成
 立ノ時ヲ以テ始マル

前二項ノ場合ニ於テ保險者ノ責任ハ到達港ニ於テ荷物又ハ底荷ノ陸揚カ終了シタル時
 ヲ以テ終ハル但其陸揚カ不可抗力ニ因ラスシテ遲延シタルトキハ其終了スヘカリシ時
 ヲ以テ終ハル

第六百六十條 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險
 ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ責任ハ其積荷カ陸地ヲ離レタル時ヲ以テ始マリ陸揚

港ニ於テ其陸揚カ終了シタル時ヲ以テ終ハル

前條第三項但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六十一條 海上保險證券ニハ第四百三條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ

載スルコトヲ要ス

- 一 船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ其船舶ノ名稱、國籍並ニ種類、船長ノ氏名
 及ヒ發航港、到達港又ハ寄航港ノ定アルトキハ其港名
- 二 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シ
 タル場合ニ於テハ船舶ノ名稱、國籍並ニ種類、船積港及ヒ陸揚港

第六百六十二條 保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ航海ヲ變更シタルトキハ保險契約ハ其
 效力ヲ失フ

保險者ノ責任カ始マリタル後航海ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更後ノ事故ニ付キ
 責任ヲ負フコトナシ但其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ
 因リタルトキハ此限ニ在ラス
 到達港ヲ變更シ其實行ニ著手シタルトキハ保險シタル航路ヲ離レサルトキト雖モ航海
 ヲ變更シタルモノト看做ス

第六百六十三條 被保險者カ發航ヲ爲シ若クハ航海ヲ繼續スルコトヲ怠リ又ハ航路ヲ變
 更シ其他著シク危險ヲ變更若クハ増加シタルトキハ保險者ハ其變更又ハ増加以後ノ事
 故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更又ハ増加カ事故ノ發生ニ影響ヲ及ホササリシト

キ又ハ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ不可抗力若クハ正當ノ理由ニ因リテ生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十四條 保險契約中ニ船長ヲ指定シタルトキト雖モ船長ノ變更ハ契約ノ效力ニ影響ヲ及ボサス

第六百六十五條 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ船舶ヲ變更シタルトキハ保險者ハ其變更以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フコトナシ但其變更力保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸フヘカラサル事由ニ因リタルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十六條 保險契約ヲ爲スニ當タリ荷物ヲ積込ムヘキ船舶ヲ定メサリシ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ其荷物ヲ船積シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ船舶ノ名稱及ヒ國籍ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

保險契約者又ハ被保險者カ前項ノ通知ヲ怠リタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フ

第六百六十七條 保險者ハ左ニ掲ケタル損害又ハ費用ヲ填補スル責ニ任セス
一 保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵其自然ノ消耗又ハ保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害

二 船舶又ハ運送貨ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ發航ノ當時安全ニ航海ヲ爲スニ必要ナル準備ヲ爲サス又ハ必要ナル書類ヲ備ヘサルニ因リテ生シタル損害

三 積荷ヲ保險ニ付シ又ハ積荷ノ到達ニ因リテ得ヘキ利益若クハ報酬ヲ保險ニ付シ

タル場合ニ於テ傭船者荷送人又ハ荷受人ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害

四 水先案内料、入港料、燈臺料、檢疫料其他船舶又ハ積荷ニ付キ航海ノ爲メニ出タル通常ノ費用

第六百六十八條 共同海損ニ非サル損害又ハ費用カ其計算ニ關スル費用ヲ算入セスシテ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エサルトキハ保險者ハ之ヲ填補スル責ニ任セス

右ノ損害又ハ費用カ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エタルトキハ保險者ハ其全額ヲ支拂フコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ當事者カ契約ヲ以テ保險者ノ負擔セサル損害又ハ費用ノ割合ヲ定メタル場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ定メタル割合ハ各航海ニ付キ之ヲ計算ス
第六百六十九條 保險ノ目的タル積荷ヲ毀損シテ陸揚港ニ到達シタルトキハ保險者ハ其積荷カ毀損シタル狀況ニ於ケル價額ノ毀損セサル狀況ニ於テ有スヘカリシ價額ニ對スル割合ヲ以テ保險價額ノ一部ヲ填補スル責ニ任ス

第六百七十條 航海ノ途中ニ於テ不可抗力ニ因リ保險ノ目的タル積荷ヲ賣却シタルトキハ其賣却ニ依リテ得タル代價ノ中ヨリ運送貨其他ノ費用ヲ控除シタルモノト保險價額トノ差ヲ以テ保險者ノ負擔トス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ第三百九十一條ノ適用ヲ妨ケス

前項ノ場合ニ於テ買主カ代價ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其支拂ヲ爲スコトヲ要ス但其支拂ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ買主ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス
第六百七十一條 左ノ場合ニ於テハ被保險者ハ保險ノ目的ヲ保險者ニ委付シテ保險金額ノ全部ヲ請求スルコトヲ得

- 一 船舶カ沈没シタルトキ
 - 二 船舶ノ行方カ知レサルトキ
 - 三 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ
 - 四 船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ
 - 五 船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六個月間解放セラレサルトキ
- 第六百七十二條 船舶ノ存否カ六個月間分明ナラサルトキハ其船舶ハ行方ノ知レサルモノトス

保險期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ前項ノ期間内ニ經過シタルトキト雖モ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得但船舶カ保險期間内ニ滅失セサリシコトノ證明アリタルトキハ其委付ハ無効トス

第六百七十三條 第六百七十一條第三號ノ場合ニ於テ船長カ遲滞ナク他ノ船舶ヲ以テ積荷ノ運送ヲ繼續シタルトキハ被保險者ハ其積荷ヲ委付スルコトヲ得ス

第六百七十四條 被保險者カ委付ヲ爲サント欲スルトキハ三個月内ニ保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ第六百七十一條第一號、第三號及ヒ第四號ノ場合ニ於テハ被保險者カ其事由ヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

再保險ノ場合ニ於テハ第一項ノ期間ハ其被保險者カ自己ノ被保險者ヨリ委付ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之ヲ起算ス

第六百七十五條 委付ハ單純ナルコトヲ要ス

委付ハ保險ノ目的ノ全部ニ付テ之ヲ爲スコトヲ要ス但委付ノ原因カ其一部ニ付テ生シタルトキハ其部分ニ付テノミ之ヲ爲スコトヲ得

保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ委付ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ應シテ之ヲ爲スコトヲ得

第六百七十六條 保險者カ委付ヲ承認シタルトキハ後日其委付ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第六百七十七條 保險者ハ委付ニ因リ被保險者カ保險ノ目的ニ付キ有セル一切ノ權利ヲ取得ス

被保險者カ委付ヲ爲シタルトキハ保險ノ目的ニ關スル證書ヲ保險者ニ交付スルコトヲ要ス

第六百七十八條 被保險者ハ委付ヲ爲スニ當タリ保險者ニ對シ保險ノ目的ニ關スル他ノ保險契約竝ニ其負擔ニ屬スル債務ノ有無及ヒ其種類ヲ通知スルコトヲ要ス
保險者ハ前項ノ通知ヲ受クルマテハ保險金額ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セス

保險金額ノ支拂ニ付キ期間ノ定アルトキハ其期間ハ保險者カ第一項ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ之ヲ起算ス

第六百七十九條 保險者カ委付ヲ承認セサルトキハ被保險者ハ委付ノ原因ヲ證明シタル後ニ非サレハ保險金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス

保險法令輯覽(終)

大正十三年二月十日印刷
大正十三年二月十三日發行

保險法令輯覽
定價金貳圓

著作
權所有

著者

巖松堂書店編輯部

發行者

東京市神田區中猿樂町二番地
株式會社 巖松堂書店

右代表者 波多野重太郎

印刷者

東京市牛込區西五軒町五十二番地
福山福太郎

發兌元

東京神田區中猿樂町
電話牛込一六五三番
振替東京六五五六番

巖松堂書店

大正十三年二月十三日
大正十三年二月十日

香 港
海 峽

香港
海峽
檳榔嶼
怡保
芙蓉
馬六甲
吉隆坡
新加坡

安南
暹羅

147
266

